



## Cisco IP 会議用電話 8832 ユーザーガイド

初版：2017年9月15日

最終更新：2019年9月5日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2017–2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 目次

### 第 1 章

#### 電話機 1

お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR	1
機能のサポート	2
新規および変更情報	2
ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報	2
ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報	2
ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.5 (1) SR1 の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報	3
電話機のセットアップ	4
ネットワークへの接続	4
Wi-Fi クライアントのセットアップ	6
事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続	6
アクティベーションコード オンボーディングで接続する	7
Expressway への接続	7
有線拡張マイクの取り付け	8
ワイヤレス拡張マイクの取り付け	8
ワイヤレスマイクのペアリング	9
ワイヤレスマイクのペアリングの解除	10
ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け	10
ワイヤレスマイクの充電	11
デイジーチェーンモード	12
デイジーチェーン接続モードでの会議電話の設置	12

セルフケア ポータル	14
短縮ダイヤル番号	15
Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア	16
電話機のキーパッドの文字	18
有線拡張マイク	18
ワイヤレス拡張マイク	19
電話ファームウェアとアップグレード	20
電話機アップグレードの延期	20
電話機ファームウェア アップグレードの進捗状況の確認	21
省エネルギー	21
電話機の電源を入れる	22
追加のヘルプと情報	22
アクセシビリティ機能	22
の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能 :	23
視覚障がい者向けアクセシビリティ機能	24
の運動障がい者障害向けアクセシビリティ機能	26
サードパーティ製のアクセシビリティ アプリケーション	28
トラブルシューティング	28
電話機に関する情報の検索	28
通話品質の問題を報告する	28
電話機のすべての問題を報告する	29
電話機の接続の切断	29
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	29

---

**第 2 章****通話 31**

コールの発信	31
電話をかける	31
電話のアドレスを使用したコールの発信	31
番号のリダイヤル	32
短縮ダイヤル	32
会議電話で短縮ダイヤル コールを発信する	32

短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信	33
連絡先が対応可能な場合の通知	33
国際番号のダイヤル	33
安全なコール	34
コールへの応答	34
コールに応答する	34
会議電話でコール ウェイティングへ応答する	34
コールの拒否	34
応答不可をオンにする	35
不審なコールのトレース	35
コールのミュート	35
コールの保留	36
コールを保留にする	36
長時間にわたって保留されているコールに応答する	36
アクティブ コールと保留コールの切り替え	36
コールパーク	36
コールパークを使用してコールを保留にする	37
コールパークを使用して保留中コールを取得する	37
コールの転送	37
通話の転送	38
別の担当者にコールを転送する	38
転送を行う前の会話	38
電話会議とミーティング	39
他の人をコールに追加する	39
会議を確立する前にコール間を切り替える	39
会議参加者の表示と削除	40

---

**第 3 章**
**コンタクト 41**

社内ディレクトリ(Corporate Directory)	41
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	41
パーソナルディレクトリ	41

パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト	42
パーソナルディレクトリへの新しい連絡先の追加	42
パーソナルディレクトリ内の連絡先の検索	42
パーソナルディレクトリ内の連絡先への発信	43
ファストダイヤルコードの連絡先への割り当て	43
ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信	44
パーソナルディレクトリ内の連絡先の編集	44
パーソナルディレクトリからの連絡先の削除	44
ファストダイヤルコードの削除	45
Cisco Web Dialer	45

---

**第 4 章****通話履歴 47**

最近の通話リスト	47
最近の通話履歴を表示する	47
最近の通話履歴に戻る	48
最近の通話履歴を消去する	48
コールレコードの削除	48

---

**第 5 章****ボイスメール 49**

ボイスメールアカウント	49
新しいボイスメッセージの確認	50
ボイスメールへのアクセス	50

---

**第 6 章****設定 51**

呼出音の変更	51
着信音量の調節	51
コール中に音量を調節する	52
電話機の表示言語	52

---

**第 7 章****アプリケーション 53**

使用できるアプリケーション	53
---------------	----

アクティブアプリケーションの表示	53
アクティブアプリケーションへの切り替え	54
アクティブアプリケーションの終了	54

---

**第 8 章**
**製品の安全性とセキュリティ 55**

## 安全性とパフォーマンスの情報 55

停電 55

規制区域 55

ヘルスケア環境 55

外部デバイス 56

電話機への電力供給方法 56

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動 56

UL 警告 57

## 準拠宣言 57

EU への適合宣言 57

CE マーキング 57

EU への RF 被曝に関する宣言 57

適合宣言（米国） 57

Part 15 無線デバイス 57

適合宣言（カナダ） 57

カナダの RF 被曝に関する声明 58

カナダの高出力レーザーに関する声明 59

ニュージーランドへの適合宣言 59

接続許可（PTC）一般警告 59

適合宣言（台湾） 60

DGT の警告宣言 60

省電力およびビジュアル警告通知 61

適合宣言（アルゼンチン） 61

適合情報（ブラジル） 61

適合宣言（シンガポール） 62

適合情報（中国） 62

適合情報（日本）	62
適合情報（韓国）	62
適合情報（メキシコ）	63
適合情報（ロシア）	63
FCC 準拠宣言	63
FCC Part 15.19 宣言	63
FCC Part 15.21 宣言	63
FCC RF 被曝に関する宣言	63
FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言	64
シスコ製品のセキュリティ	64
重要なオンライン情報	64





# 第 1 章

## 電話機

- お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR (1 ページ)
- 新規および変更情報 (2 ページ)
- 電話機のセットアップ (4 ページ)
- セルフケア ポータル (14 ページ)
- Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア (16 ページ)
- 電話ファームウェアとアップグレード (20 ページ)
- 省エネルギー (21 ページ)
- 追加のヘルプと情報 (22 ページ)

## お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR

Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR は、中～大規模の会議室やエグゼクティブ オフィス向けに高解像度 (HD) のオーディオ パフォーマンスと 360 度のカバレッジを提供します。会議電話のマイクは感度が高いため、通常の声で話すことができ、最大 2.1 m (10 フィート) 離れた場所からでも声をはっきりと聞こえます。

図 1: Cisco IP 会議用電話 8832



大きな会議室でのカバレッジを高めるため、電話機に2つの有線拡張マイクを接続できます。電話機は、オプションのワイヤレス拡張マイク 2 個のセットもサポートしています。

Cisco IP Conference Phone 8832NR（非無線）バージョンでは、Wi-Fi や無線拡張マイクはサポートされません。

電話機は、6.1 X 6.1 m（20 X 20 フィート）の部屋で最大 10 人まで使用できます。拡張マイクを追加すると、部屋は 6.1 X 10 m（20 X 34 フィート）に、人数は最大 22 人にカバレッジが拡張されます。

部屋のカバレッジを高めるため、2つの基本ユニットを接続することができます。この設定ではオプションのデ이지チェーンキットが必要で、2つの拡張マイク（有線またはワイヤレス、組み合わせは不可）をサポートできます。デ이지チェーンキットで有線マイクを使用する設定では、6.1 X 15.2 m（20 X 50 フィート）までの部屋と最大 38 人のカバレッジを提供します。デ이지チェーンキットでワイヤレスマイクを使用する設定では、6.1 X 17.4 m（20 X 57 フィート）までの部屋と最大 42 人のカバレッジを提供します。

## 機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、管理者に連絡してください。

## 新規および変更情報

以下のセクションの情報を参照すると、マニュアルの変更内容を理解できます。各セクションには、主な変更点が記載されています。

### ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

No user guide updates were required for Firmware Release 12.6(1).

### ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR3 に対して行われた変更を示しています。

表 1: ファームウェアリリース 12.1 (1) に関する Cisco IP Conference Phone 8832 ユーザガイドの改訂

リビジョン	新規または更新されたセクション
新しいトピック	電話機のキーパッドの文字 (18 ページ)

## ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報

ファームウェアリリース12.5 (1) SR2に関するユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 は、ファームウェアリリース 12.5 (1)およびファームウェア 12.5 (1) SR1 に代わるものです。ファームウェアリリース 12.5(1)およびファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) を優先して使用が延期されています。

## ファームウェアリリース12.5 (1) SR1の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.5(1)SR1 に必要な更新はありませんでした。

## ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.5(1) に必要な更新はありませんでした。

## ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.1 (1) に加えられた変更を示します。

表 2: ファームウェアリリース12.1 (1) に関するCisco IP Conference Phone 8832ユーザガイドの改訂

リビジョン	新規または更新されたセクション
のサポートへの更新 Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタ	<a href="#">ネットワークへの接続 (4 ページ)</a>
ワイヤレス マイクのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR (1 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">ワイヤレス拡張マイク (19 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">ワイヤレス拡張マイクの取り付け (8 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">ワイヤレス マイクのペアリング (9 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">ワイヤレス マイクのペアリングの解除 (10 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け (10 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">ワイヤレス マイクの充電 (11 ページ)</a></li> </ul>
デジチェーンのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR (1 ページ)</a></li> <li>• <a href="#">デジチェーンモード (12 ページ)</a></li> </ul>

リビジョン	新規または更新されたセクション
Cisco IP 会議用電話 8832非 PoE イーサネット インジェクタ のサポート	ネットワークへの接続 (4 ページ)
Wi-Fi のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークへの接続 (4 ページ)</li> <li>• Wi-Fi クライアントのセットアップ (6 ページ)</li> <li>• 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続 (6 ページ)</li> </ul>
Expressway 経由モバイルおよび Remote Accessのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークへの接続 (4 ページ)</li> <li>• Expressway への接続 (7 ページ)</li> </ul>
CMC と FAC のサポート	課金コードまたは承認コードを必要とするコール

## 電話機のセットアップ

通常、電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

### ネットワークへの接続

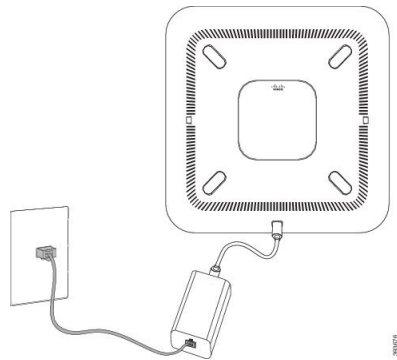
電話機をネットワークに接続する必要があります。

- 有線ネットワーク接続：すべての有線ネットワーク接続が次のいずれかを使用します。
  - **PoE 導入:** 電話機をに接続Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタし、インジェクタをイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続します。
  - **PoE 以外の導入:** 使用している場所に応じて、次のいずれかのオプションを使用します。
    - に電話機を接続しますCisco IP 会議用電話 8832非 PoE イーサネット インジェクタ。次に、インジェクタをイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続し、電源アダプタを使用して電気コンセントに接続します。
    - に電話機を接続しますCisco IP 会議用電話 8832 イーサネット インジェクタ。次に、インジェクタをイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続し、電源アダプタを使用して電気コンセントに接続します。このオプションは、北米に基づいている場合にのみ使用できます。
- ワイヤレス接続：Cisco IP 会議用電話 8832 は、Wi-Fi を使用してワイヤレス アクセス ポイントに接続できます。

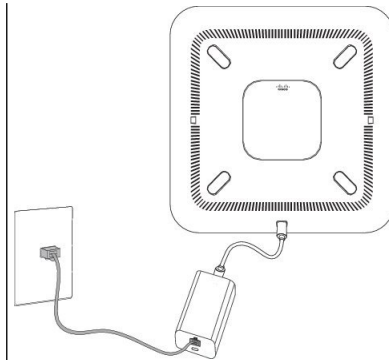
Expressway 経由モバイルおよびリモート アクセス：管理者がExpressway 経由モバイルおよびリモート アクセスを設定している、電話機がネットワークに接続されている場合、Expressway サーバに自動的に接続されます。

図 2: PoE 導入オプション

次の図は、2つの PoE 電源オプションを示しています。右の図に示されているオプションは、北米に基づいている場合にのみ使用できます。



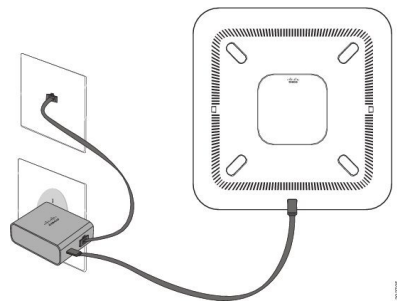
Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタと PoE 電源オプション



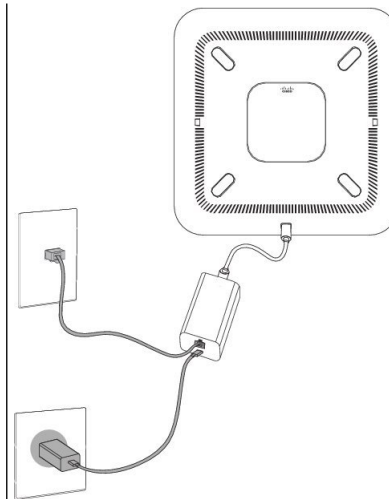
Cisco IP 会議用電話 8832 イーサネット インジェクタと PoE 電源オプション

図 3: PoE 以外の導入オプション

次の図は、2つの PoE 電源オプションを示しています。右側の図に示されているオプションは、自分が北アメリカに基づいている場合にのみ使用できます。

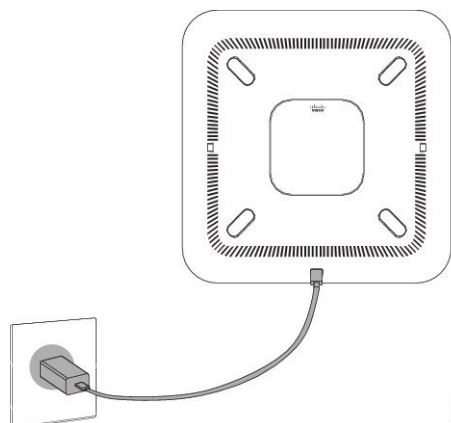


Cisco IP 会議用電話 8832 非 PoE イーサネット インジェクタとイーサネット 電源オプション



Cisco IP 会議用電話 8832 イーサネット インジェクタとイーサネット 電源オプション

図 4: Wi-Fi ネットワーク接続



## Wi-Fi クライアントのセットアップ

Cisco IP 会議用電話 8832 は Wi-Fi ネットワークにアクセスできます。電話機に電力を供給する電源アダプタが必要です。Cisco IP 会議用電話 8832 NR は Wi-Fi ネットワークでは使用できません。

### 始める前に

Wi-Fi アクセスを有効にするには、管理者がコール制御システムで設定を行う必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 電話機がイーサネットに接続されている場合は、イーサネット ケーブルを取り外します。
  - ステップ 2 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ 3 [管理者設定 (Admin settings)] > [ネットワークのセットアップ (Network setup)] > [Wi-Fi クライアントのセットアップ (Wi-Fi client setup)] に移動します。
  - ステップ 4 [ワイヤレス (Wireless)] に移動して、[オン (On)] を押します。
  - ステップ 5 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存するか、[復元 (Revert)] を押して変更をキャンセルします。
  - ステップ 6 [ネットワーク名 (Network name)] に移動します。
  - ステップ 7 電話機が SSID のスキャンを終了したら、参加するネットワークを選択します。
  - ステップ 8 Wi-Fi 認証情報を入力し、[接続 (Connect)] を押します。
- 

## 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続

Cisco IP 会議用電話 8832 は Wi-Fi を使用してネットワークに接続できますが、セキュリティ上の理由から、ユーザ名とパスワードを入力してください。ただし、Cisco IP 会議用電話 8832 NR は Wi-Fi をサポートしていません。

電話機の設定方法によっては、Wi-Fi ネットワークに参加したとき、または電話機が起動したときに、サインインが必要になる場合があります。

正しいユーザ名とパスワードを入力するまで、Wi-Fi サインイン ウィンドウを消すことはできません。

#### 手順

**ステップ1** 要求されたら、Wi-Fi クレデンシャルを入力します。

**ステップ2** [サインイン (Sign-in) ] を選択します。

## アクティベーションコードオンボーディングで接続する

ネットワークがこの機能をサポートするように設定されている場合、アクティベーションコードオンボーディングを使用して、会社の電話ネットワークに接続することができます。

### アクティベーションコードを入力する

アクティベーションコードは、新しい電話機の設定に使用されます。1 回のみ使用でき、1 週間後に有効期限が切れます。コードがわからない場合や新しいコードが必要な場合は、管理者に連絡してください。

#### 手順

**ステップ1** アクティベーション画面にアクティベーションコードを入力します。

**ステップ2** [送信] を押します。

## Expressway への接続

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access を使用すると、オフィス外で勤務しているときでも社内ネットワークに接続できます。

#### 手順

**ステップ1** サービスモードのリセットは、[設定 (Settings) ] > [管理者設定 (Admin Settings) ] > [設定のリセット (Reset Settings) ] > [サービスモード (Service mode) ] から行います。

**ステップ2** サービスモードの変更を促すメッセージが表示されたら、[選択 (Select) ] を押します。

**ステップ3** サービスドメインを入力し、[続行 (Continue) ] を押します。

**ステップ4** ユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ5 [サインイン (Sign In) ] を選択します。

## 有線拡張マイクの取り付け

会議電話は、2つの有線拡張マイクを備えたオプションキットをサポートしています。マイクは電話機から最大 2.13 m (7 フィート) まで延長できます。最高の結果を得るには、マイクを電話から 0.91 m (3 フィート) 離して配置することをお勧めします。



(注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせることはできません。

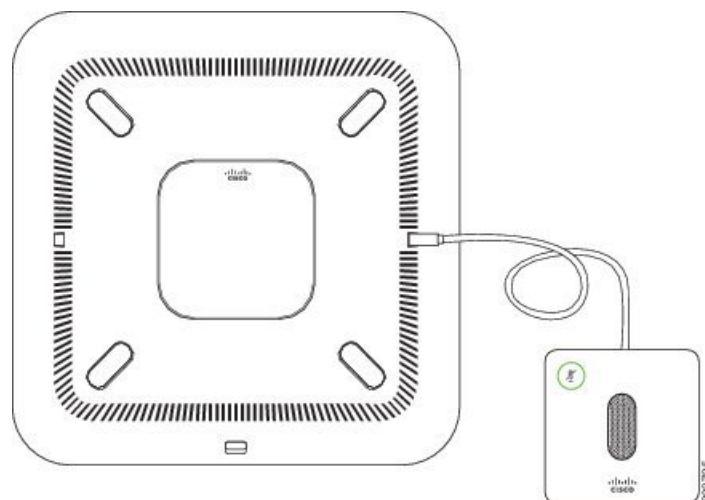
### 手順

ステップ1 会議電話の側面のポートにマイクケーブルの端を差し込みます。

ステップ2 マイクのケーブルを希望する位置まで延長します。

次の図は、有線拡張マイクの取り付けを示しています。

図 5: 有線拡張マイクの取り付け



### 関連トピック

[有線拡張マイク](#) (18 ページ)

## ワイヤレス拡張マイクの取り付け

会議電話には、2つのワイヤレス拡張マイクを接続するオプションがあります。





- (注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせることはできません。

電話機の通話時は、拡張マイクのLEDが緑色に点灯します。拡張マイクをミュートするには、[ミュート (Mute)] キーを押します。マイクをミュートにすると、LEDが赤く点灯します。マイクのバッテリーが少なくなると、電池残量表示 LED がすばやく点滅します。

#### 始める前に

ワイヤレス拡張マイクを取り付ける前に、有線拡張マイクを取り外します。有線およびワイヤレス拡張マイクは同時に使用できません。

#### 手順

- ステップ 1** マイクを配置するテーブルの表面で、テーブルマウントプレートを置く位置を決めます。
- ステップ 2** テーブルマウントプレートの底面に付いている両面テープの接着面を剥がします。テーブルマウントプレートを配置し、テーブルの表面に接着します。
- ステップ 3** テーブルマウントプレートにマイクを取り付けます。マイクには磁石が埋め込まれているので、ユニットが所定の場所にくっつきます。

マイクと取り付けしたテーブルマウントは、必要に応じてテーブルの表面上の別の場所に移動できます。ユニットを保護するため、移動する際は慎重に行ってください。

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (19 ページ)

[ワイヤレス拡張マイクの取り付け](#) (8 ページ)

## ワイヤレスマイクのペアリング


#### 始める前に

すべての有線マイクを取り外します。

#### 手順

- ステップ 1** 設定を押します。
- ステップ 2** [管理者設定 (Admin Settings)] > [マイク (Microphones)] > [ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] を選択します。
- ステップ 3** [マイク 1 (Microphone 1)] または [マイク 2 (Microphone 2)] のいずれかを選択し、[ペア (Pair)] を押します。

マイクが既に特定のチャンネルにリンクされている場合、電話機の画面にマイクがペアリングされていることが示されます。

- ステップ4** ワイヤレスマイクの[ミュート (Mute)]  を、マイクのLEDが白く点滅するまで押します。ペアリングが成功すると、電話機の画面に成功のメッセージが表示されます。
- ステップ5** (任意) [キャンセル (Cancel)] を押し、[ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] メニューに戻ります。

---

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (19 ページ)

## ワイヤレスマイクのペアリングの解除

### 手順

---

- ステップ1** 設定を押します。
- ステップ2** [管理者設定 (Admin Settings)] > [マイク (Microphones)] > [ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] を選択します。
- ステップ3** [マイク1 (Microphone 1)] または [マイク2 (Microphone 2)] のいずれかを選択します。  
選択したチャンネルがペアリングされている場合、[ペア解除 (Unpair)] ソフトキーが電話機の画面に表示されます。
- ステップ4** [ペア解除] を押します。

---

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (19 ページ)

## ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け

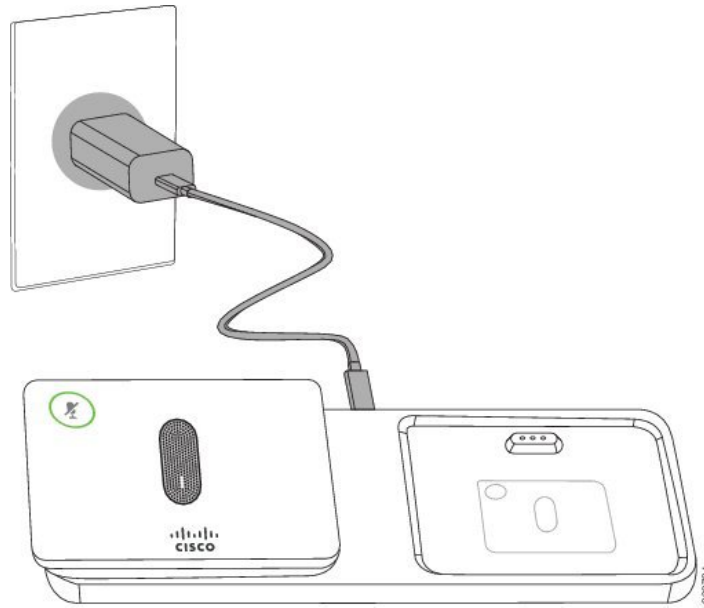
ワイヤレスマイクの電池を充電するには、充電クレードルを使用します。

### 手順

---

- ステップ1** 充電クレードルの電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。
- ステップ2** 充電クレードルに USB-C ケーブルの一方の端を差し込み、もう一方の端を電源アダプタに差し込みます。  
次の図は、ワイヤレスマイク充電クレードルの取り付けを示しています。

図 6: ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け



---

**関連トピック**

[ワイヤレス拡張マイク](#) (19 ページ)

## ワイヤレスマイクの充電

**始める前に**

ワイヤレスマイクの充電クレードルを取り付けます。詳細については、[ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け](#) (10 ページ) を参照してください。

**手順**

- 
- ステップ 1** 充電クレードルにマイクを置きます。
  - ステップ 2** クレードルの LED が白ではない場合は、マイクを取り外し、再度置きます。

---

**関連トピック**

[ワイヤレス拡張マイク](#) (19 ページ)

## デジチェーンモード

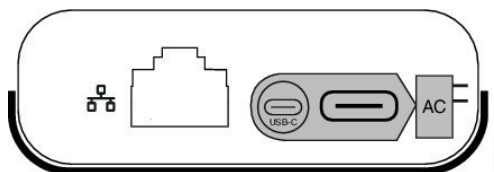
スマートアダプタと、部屋の中の音声カバレッジエリアを拡大するためにデジチェーンキットに用意されているUSB-Cケーブルを使用して、2つの会議電話を接続することができます。

デジチェーンモードでは、どちらのユニットも、電源アダプタに接続されているスマートアダプタから電力を供給されます。ユニットごとに1つだけ外部マイクを使用できます。有線マイクとユニットのペア、またはワイヤレスマイクとユニットのペアのいずれかを使用できますが、これらのマイクを組み合わせることはできません。いずれかのユニットに有線マイクを接続した場合、同じユニットに接続しているワイヤレスマイクのペアを解除します。アクティブな通話があるたびに、両方のユニットの端末画面上のLEDとメニューオプションが同期されます。

### デジチェーン接続モードでの会議電話の設置

デジチェーンキットにはスマートアダプタ、短いLANケーブル、2本の長くてより太いUSB-Cケーブル、および短くて薄いUSB-Cケーブルが含まれています。デジチェーン接続モードでは、会議電話をコンセントからの外部電源に接続する必要があります。スマートアダプタを使用して電話機を接続する必要があります。長いUSB-Cケーブルは電話機に到達して、短いものは電源アダプタに到達します。電源アダプタとLANポートをスマートアダプタに接続するときは、次の図を参照してください。

図 7: スマートアダプタの電源ポートとLANポート



ユニットごとに1つのみマイクを使用できます。



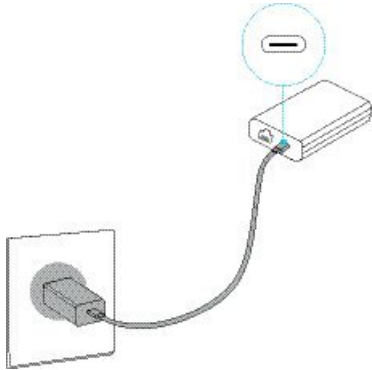
(注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせることはできません。

電源アダプタ用のUSB-Cケーブルは、電話機に接続されているUSB-Cケーブルよりも薄型です。

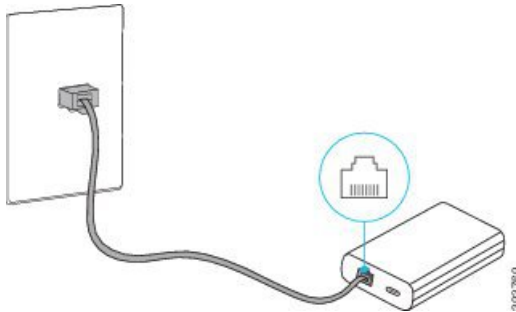
#### 手順

**ステップ 1** 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

**ステップ 2** 電源アダプタからスマートアダプタには、短くて薄型のUSB-Cケーブルを接続します。

図 8: 電源コンセントに接続されたスマートアダプタの **USB** ポート

**ステップ 3** 必須: イーサネット ケーブルを スマート アダプタ と LAN ポートに接続します。

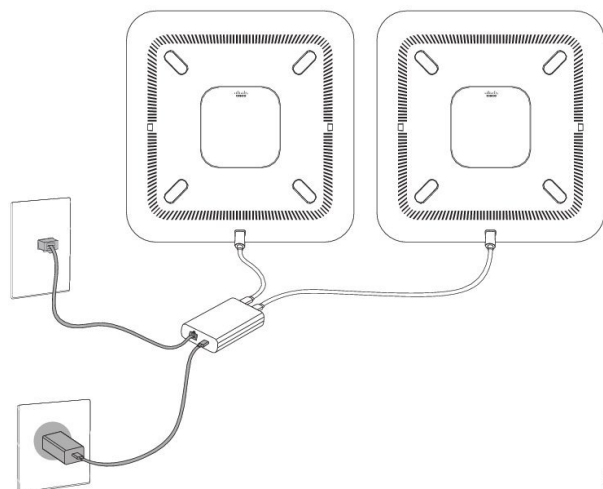
図 9: 壁面のコンセントの **LAN** ポートに接続されたスマートアダプタの **LAN** ポート

**ステップ 4** より長くて太い USB-C ケーブルを使用して、1 台目の電話機を スマート アダプタ に接続します。

**ステップ 5** USB-C ケーブルを使用して、2 台目の電話機を スマート アダプタ に接続します。

次の図に、デジチェーン接続モードで会議電話を設置する様子を示します。

図 10: デイジーチェーンモードでの会議電話機の設置



## セルフケア ポータル

コンピュータからアクセス可能なセルフ ケア ポータル Web サイトで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。セルフケア ポータルは、組織の Cisco Unified Communications Manager の一部です。

セルフケア ポータルにアクセスするための URL、およびユーザ ID とパスワードが管理者から通知されます。

セルフ ケア ポータルでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。
- 電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワークデータ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスを電話機で利用するには、その前にセルフ ケア ポータルを使って電話サービスを登録する必要があります。

セルフ ケア ポータルを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。詳細については、ご使用のコール制御システムに関するセルフ ケア ポータルのマニュアルを参照してください。

表 3: 自己管理ポータルで利用できる機能

機能	説明
コール転送	電話で自動転送が有効になっているときに着信を受ける番号を使用します。セルフケアポータルを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップすることができます。
追加の電話機	固定電話と同じ電話番号で電話を発信/受信するために使用する、携帯電話などの追加の電話を指定します。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選好を定義することもできます。さらに、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• シングルナンバーリーチ：自分のデスクフォンに着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。</li> <li>• モバイルコール：追加の電話機が携帯電話である場合、モバイルコールからデスクフォンに、またはデスクフォンのコールから携帯電話に転送されるようセットアップできます。</li> </ul>
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやく電話をかけることができます。

## 関連トピック

[短縮ダイヤル](#) (32 ページ)

[コールの転送](#) (37 ページ)

## 短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (\*)

- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に2秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2つのカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金情報コードの間に1つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみて、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に **[リダイヤル (Redial)]** を押すと、電話機に必要な承認コード、課金情報コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

#### 例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4 秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は **95556543,1234,9876,,56789#** となります。

#### 関連トピック

[課金コードまたは承認コードを必要とするコール](#)  
[電話機のキーパッドの文字](#) (18 ページ)

## Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア

次の図は Cisco IP 会議用電話 8832 です。








図 11: Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタンと機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタンを示します。

表 4: Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタン

1	LED バー	<p>コール状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブ コール</li> <li>• 緑（点滅）：着信コール</li> <li>• 緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>• 赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>
2	拡張マイク ポート	有線拡張マイク ケーブルはポートに差し込みます。
3	ミュート バー	[ミュート  ]：マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイク音声がミュートになっているとき、LED バーは赤色に点灯します。
4	ソフトキー ボタン	[ミュート  ]：機能とサービスにアクセスします。
5	ナビゲーションバーと [選択 (Select)] ボタン	 <p>[ミュート ]：メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。</p>

6	[音量 (Volume) ] ボタン:	 <p>[ミュート] : スピーカーフォンの音量 (オフック) と着信音の音量 (オンック) を調整します。</p> <p>音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。</p>
---	---------------------	---

## 電話機のキーパッドの文字

電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ (0)、アスタリスク (\*)、およびシャープ (#) キーを使用します。次の表は、各キーの特殊文字を示しています。

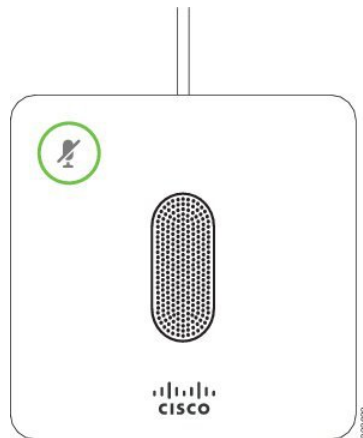
表 5: キーパッドの特殊文字


キーパッドキー	特殊文字を使用する
1	/.@:;=?-_&%
0	(space), ! ^ ' "
アスタリスク (*)	+ * ~ ` < >
シャープ (#)	# \$ £ □ \ ( ) { } [ ]

## 有線拡張マイク

Cisco IP 会議用電話 8832 は、オプションキットで用意されている有線拡張マイク 2 個をサポートします。拡張マイクを使用すると、広い部屋や大人数でのカバレッジを拡大できます。最適な効果を得るために、携帯電話から 3 フィート (0.91 メートル) から 7 フィート (2.1 メートル) の間にマイクを置くことをお勧めします。

図 12: 有線拡張マイク



会議の電話が通話状態にあるとき、サイレントボタン  の周りの拡張マイクのランプが緑色に点灯します。

マイク音声ミュートになっているとき、LEDバーは赤色に点灯します。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

#### 関連トピック

[有線拡張マイクの取り付け](#) (8 ページ)

## ワイヤレス拡張マイク

Cisco IP 会議用電話 8832 は、オプションキットで充電クレードルと一緒に用意されている 2 つの拡張ワイヤレスマイクをサポートしています。ワイヤレスマイクを充電クレードルの上に配置して充電すると、クレードルの LED が白く点灯します。

図 13: ワイヤレスマイクロフォン

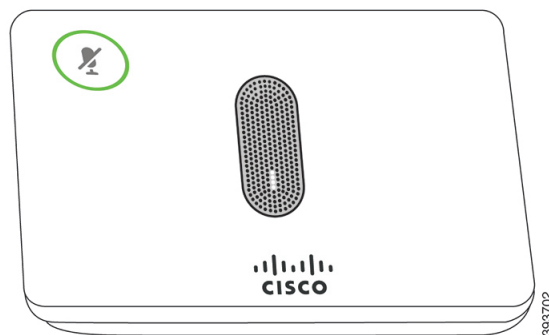
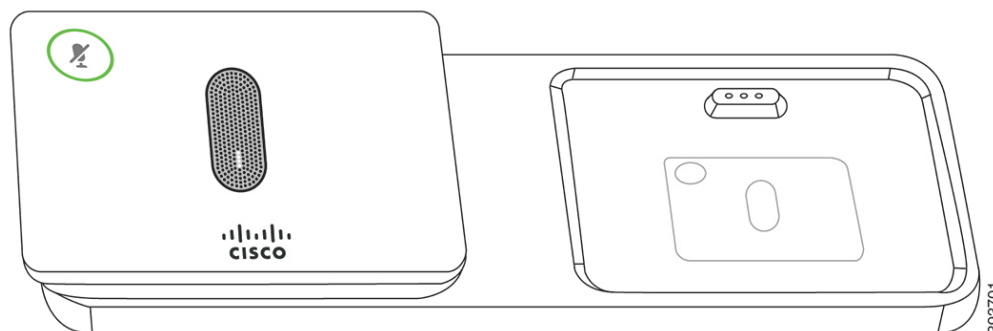


図 14: 充電クレードルに載せたワイヤレス マイク



会議電話での通話時は、[ミュート (Mute)]  ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイクをミュートにすると、LED が赤く点灯します。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

電話機がワイヤレスマイク (たとえばワイヤレスマイク 1) とペアリングされていて、充電器にワイヤレスマイクを接続している場合、[詳細表示 (Show detail)] ソフトキーを押すとマイクの充電レベルが表示されます。

電話機がワイヤレスマイクとペアリングされている時に有線マイクを接続すると、ワイヤレスマイクのペアリングが解除され、電話機は有線マイクとペアリングされます。有線マイクが接続されたことを示す通知が電話機の画面上に表示されます。

#### 関連トピック

- [ワイヤレス拡張マイクの取り付け \(8 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクのペアリング \(9 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクのペアリングの解除 \(10 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け \(10 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクの充電 \(11 ページ\)](#)

## 電話ファームウェアとアップグレード

電話機には、あらかじめファームウェアがインストールされています。これは、電話機で使用するコール制御システムに固有のファームウェアです。

管理者が電話機のファームウェアをアップグレードする場合があります。電話機をご使用中の場合でも、このアップグレードがバックグラウンドで行われます。

### 電話機アップグレードの延期

新しいファームウェアが利用可能になると、電話機に [アップグレード準備完了 (Ready to upgrade)] ウィンドウが表示され、タイマーが 15 秒のカウントダウンを開始します。何も操作しなければ、アップグレードが続行されます。

ファームウェアアップグレードは、1時間延期できます。延期は11回まで可能です。また、アップグレードは、コールを発信または着信している際にも延期されます。

#### 手順

電話機のアップグレードを延期するには、[遅延 (Delay)] を押します。

## 電話機ファームウェアアップグレードの進捗状況の確認

電話ファームウェアのアップグレード中に、アップグレードの進行状況を表示できます。

#### 手順

**ステップ1** [設定 (Settings)] を押します。

**ステップ2** [システム情報 (System information)] を選択して、[詳細の表示 (Show details)] を押します。

**ステップ3** [終了 (Exit)] を押します。

## 省エネルギー

管理者は、電話機を使用していないときに電話スクリーンで消費される電力を減らすことができます。

管理者は電話機について次のような省エネルギーレベルを設定できます。

- 省電力：電話機が一定時間非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。
- Power Save Plus：勤務スケジュールに基づいて設定された時間で、電話スクリーンのオン/オフが切り替わります。勤務時間や勤務日に変更になった場合は、電話機を再設定するよう管理者に依頼してください。

たとえば、管理者は電話スクリーンをオフする10分前にアラートを発行するように設定できます。選択ボタンが点灯し、電話機がまもなくオフになることを示すメッセージが表示されます。これらのメッセージは、次の間隔で通知されます。

- 電源オフの10分前に4回の呼出音
- 電源オフの7分前に4回の呼出音
- 電源オフの4分前に4回の呼出音
- 電源オフの30秒前に15回の呼出音

- 電話機は、電源が切れる前に 30 秒後に音を鳴り続ける

電話機がアクティブな場合は、電源シャットダウンの通知は電話機が非アクティブになってから設定時間が過ぎた後に実行されます。

## 電話機の電源を入れる

電話機の省エネがオフになっているときには、電話画面は空白で、**[選択 (Select)]** ボタンが点灯します。

### 手順

---

**[選択 (Select)]** を押して電話機を再度オンにします。

---

## 追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がございましたら、管理者にお問い合わせください。

Cisco ウェブサイト (<https://www.cisco.com>) には電話機と通話制御システムに関する詳細が掲載されています。

## アクセシビリティ機能

Cisco IP 会議用電話 8832 には、視覚障がい、聴覚障がい、および運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。これらの機能の多くが標準装備ですので、障がいを持つユーザーは特別な設定をせずにこれらの機能にアクセスできます。

このドキュメント内の「電話機のサポートページ」という用語は、ユーザーが特定の機能をセットアップするためにアクセスする Web ページを指します。Cisco Unified Communications Manager (リリース 10.0 以降) では、これらのページは、セルフケアポータルになっています。Cisco Unified Communications Manager (リリース 9.1 以前) では、これらのページはユーザーオプションの Web ページにあります。

詳細については、次の場所にある電話機のユーザーガイドを参照してください。

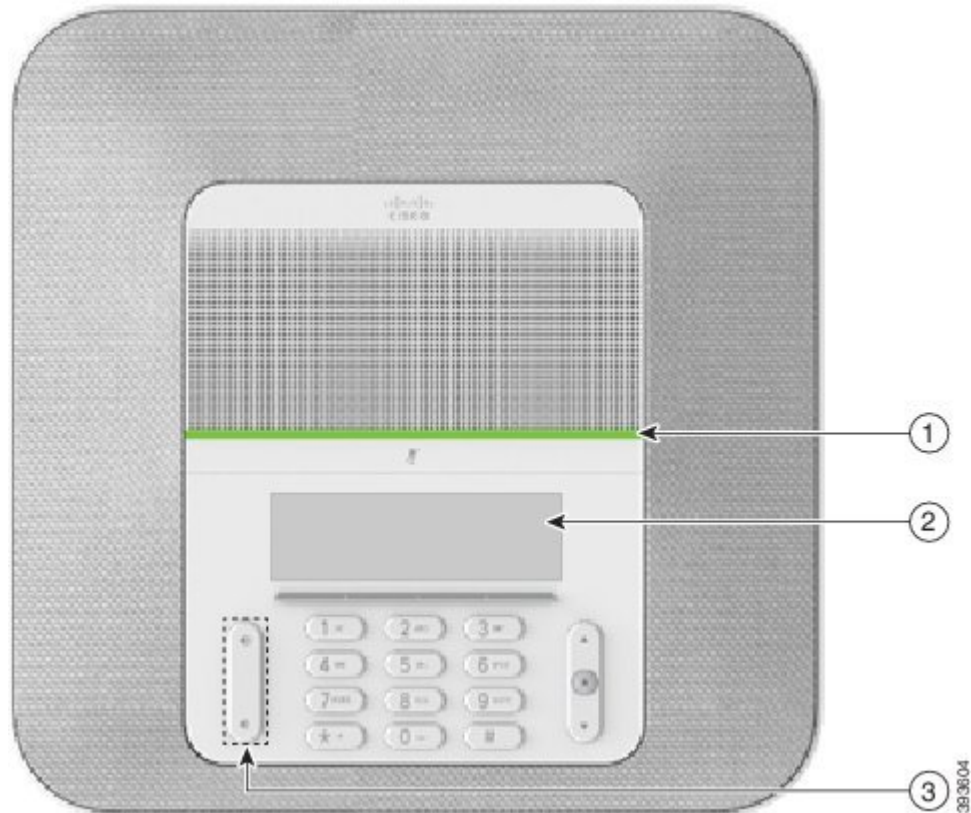
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-user-guide-list.html>

シスコでは、組織のニーズに合った、アクセシビリティ機能搭載の製品および技術の設計や提供に取り組んでいます。シスコおよびシスコによるアクセシビリティへの取り組みに関する詳細については、次の URL を参照してください。 <https://www.cisco.com/go/accessibility>

## の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能：

会議電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 15: 聴覚障がい者向けのアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能を示します。

表 6: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バール	<p>電話画面に現在の状態が表示され、LED バールは次の情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブ コール</li> <li>• 緑（点滅）：着信コール</li> <li>• 緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>• 赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>

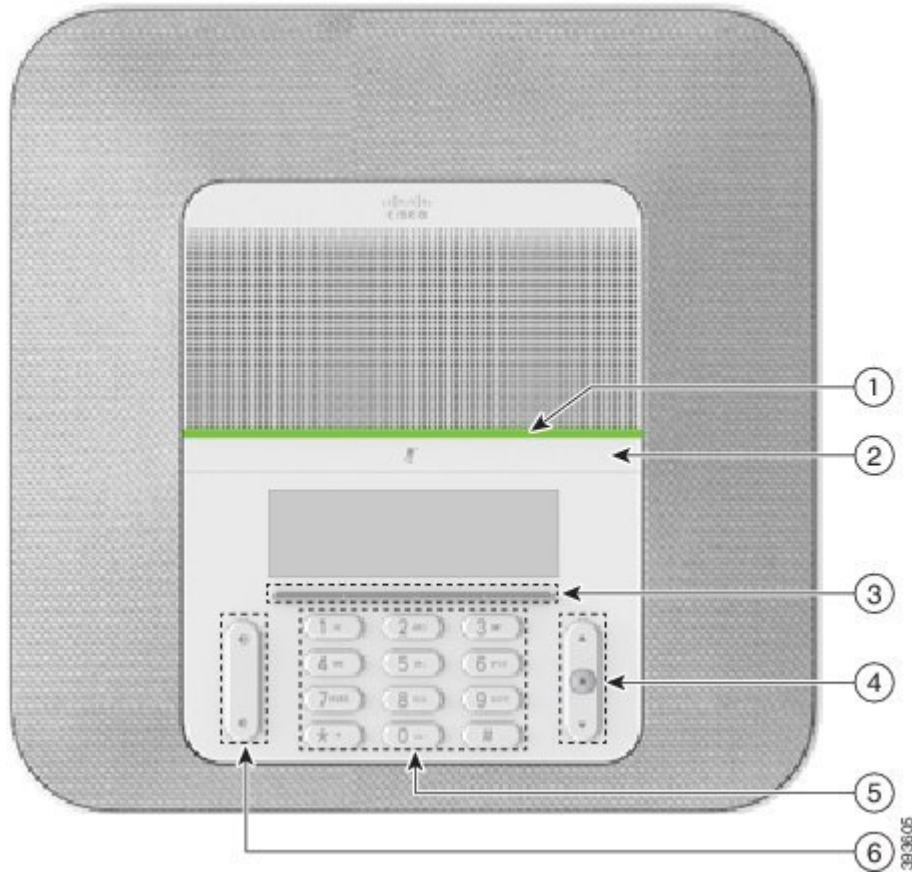
項目	アクセシビリティ機能	説明
2	電話の状態およびメッセージ待機インジケータのビジュアル通知	<p>電話画面に現在の状態が表示されます。</p> <p>メッセージがあると、電話画面にメッセージが表示されます。また、電話には音声でのメッセージ待機インジケータも搭載されています。</p> <p>可聴ボイス メッセージ インジケータを変更するには、セルフケアポータルにサインインし、メッセージ インジケータの設定にアクセスします。ユーザは、設定のオンとオフを変更できます。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p>
3	調整可能な呼出音、音の間隔、および音量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[設定 (Settings)] &gt; [設定 (Preferences)]</b> に順に選択し、呼出音を変更します。</li> <li>• 電話機の呼出音の音量レベルを調節します。コール中でない場合は、<b>[音量 (Volume)]</b> を押して、音量を調節します。</li> </ul> <p>音量を調整すると、LED バーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p>

## 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

電話機には、少しの設定または設定不要で使用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。



図 16: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の視覚障害者向けブラインドアクセシビリティ機能を示します。

表 7: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	<p>LED バーによる着信コールの高コントラストの可視および可聴アラート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LED バーは、[ミュート (Mute)] ボタンと画面の上にあります。</li> </ul>	<p>[ミュート (Mute)] ボタンを使用してマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイク音声がミュートになっているとき、LED バーは赤色に点灯します。ミュートをオンにすると、電話機でピープ音が 1 回鳴り、ミュートをオフにすると、電話機でピープ音が 2 回鳴ります。</p>

項目	アクセシビリティ機能	説明
2	[ミュート (Mute) ] ボタン <ul style="list-style-type: none"> <li>このボタンはLEDバーと画面の間にあります。</li> </ul>	ユーザに着信を知らせます。着信中はLEDが点滅します。 色による電話のステータス表示： <ul style="list-style-type: none"> <li>緑、点灯：アクティブコール</li> <li>緑（点滅）：着信コール</li> <li>緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>
3	ソフトキー <ul style="list-style-type: none"> <li>LCDのすぐ下にあるボタンです。</li> </ul>	特別な機能にアクセスできます。LCDに機能が表示されます。
4	ナビゲーションクラスタ（ナビゲーションバーと [選択 (Select) ] ボタンを含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>ナビゲーションクラスタはキーパッドの右にあります。</li> </ul>	ナビゲーションバーを使用して電話機のLCDで上下に移動できます。 [選択 (Select) ] ボタンはナビゲーションバーの中央にあります。
5	標準の12キーレイアウト	既存または使い慣れているキーポジションを使用できます。5番キーには突起が付いています。
6	[音量 (Volume) ] キー <ul style="list-style-type: none"> <li>このキーは、キーパッドの左側にあります。</li> </ul>	呼出音や音声の音量を調節できます。 音量を上げる場合はロッカーキーの上側を押します。音量を下げる場合はロッカーキーの下側を押します。 音量を調整すると、LEDバーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。

## の運動障がい者障害向けアクセシビリティ機能

会議電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 17: 運動障がい者向けのアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の運動障害者向けのアクセシビリティ機能を示します。

表 8: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	電話機の状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブ コール</li> <li>• 緑（点滅）：着信コール</li> <li>• 緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>• 赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>
2	触覚認識によるボタンおよび機能（5 番キーにある突起を含む）	電話機のキーの位置が簡単にわかります。たとえば、5 番キーには突起があるため、これによって他のキーの位置がわかります。

## サードパーティ製のアクセシビリティアプリケーション

シスコは、パートナーと緊密に連携して、シスコ製品とソリューションのアクセシビリティとユーザビリティを補完するソリューションを提供しています。サードパーティ製のアプリケーションとして、Cisco IP フォンでのリアルタイム字幕生成、聴覚障がい者向けテキスト電話（TDD/TTY）、リアルタイムテキスト（RTT）、Hearing/Voice Carry Over（HCO/VCO）、音声による発信者番号通知、通話音量を上げるためのハンドセット用インラインアンプ、「話中ライト」、Cisco IP フォンによるオーディオ/ビジュアル緊急通知（障がいを持つユーザのサポート用）などがあります。

サードパーティ製アプリケーションの詳細については、管理者にお問い合わせください。

## トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:

- 電話機が通話制御システムと通信できない
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

## 電話機に関する情報の検索

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

### 手順

---

**ステップ 1** [設定 (Settings)] を押します。

**ステップ 2** [システム情報 (System information)] を選択します。

**ステップ 3** [終了 (Exit)] を押します。

---

## 通話品質の問題を報告する

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、管理者により一時的に、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

## 手順

- ステップ1 [品質のレポート (Report quality)] を押します。
- ステップ2 スクロールして発生した問題に最も近い項目を選択します。
- ステップ3 選択 ソフトキーを押すと、システム管理者に情報が送信されます。

## 電話機のすべての問題を報告する

Cisco Collaboration Problem Report Tool (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告できます。PRTアップロードが失敗したというメッセージが表示された場合、問題レポートが電話機に保存されるため、管理者に連絡する必要があります。

## 手順

- ステップ1 [設定 (Settings)] > [システム情報 (System information)] > [問題の報告 (Report problem)] を選択します。
- ステップ2 [問題の発生日付 (Date of problem)] および [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した日時を入力します。
- ステップ3 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。
- ステップ4 表示されるリストから説明を選択して、[送信 (Submit)] を押します。

## 電話機の接続の切断

時々、電話機とコール制御システムの接続が失われることがあります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、電話機の通常の機能の中にはコール制御システムからの情報を必要とするものがあるため、全ての機能にアクセスできるわけではありません。想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機がコール制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

## シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.comの次のURLで提供されています。<https://www.cisco.com/go/hwwarranty>





## 第 2 章

### 通話

---

- コールの発信 (31 ページ)
- コールへの応答 (34 ページ)
- コールのミュート (35 ページ)
- コールの保留 (36 ページ)
- コールの転送 (37 ページ)
- 通話の転送 (38 ページ)
- 電話会議とミーティング (39 ページ)

### コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

### 電話をかける

この電話機では、他の電話機と同じようにコールを発信できます。

#### 手順

---

電話番号を入力して、**[通話 (Call)]** を押します。

---

### 電話のアドレスを使用したコールの発信

電話番号だけではなく、電話のアドレスを使用してコールを発信することもできます。

このアドレスは、**username1@example.com** のように電子メールアドレスに似ているか、**username2@209.165.200.224** のように数字が含まれている場合もあります。

### 手順

---

**ステップ1** [発信 (New Call) ]を押します。

**ステップ2** [ABC]を押すと、キーパッドを使用してテキストを入力できます。

**ステップ3** キーパッドのいずれかの数字を押して使用可能なオプションを表示し、再度その数字を押してオプションから選択します。

たとえば、[1]を3回押すと @ 記号を入力できます。

**ステップ4** [コール]を押します。

---

## 番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

### 手順

---

[リダイヤル (Redial) ]を押します。

---

## 短縮ダイヤル

頻繁に通話する相手の番号をすばやくダイヤルするために、コードを割り当てることができます。短縮ダイヤル機能を電話機で使用する前に、セルフケアポータルで短縮ダイヤルを設定してください。短縮ダイヤルコードを使用すると、コードを入力して電話番号をダイヤルできます（「短縮ダイヤル」と呼ぶ場合もあります）。

### 関連トピック

[セルフケアポータル](#) (14 ページ)

[短縮ダイヤル番号](#) (15 ページ)

## 会議電話で短縮ダイヤル コールを発信する

### 始める前に

セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤル コードを設定します。

### 手順

---

**ステップ1** ナビゲーションバーを押すか、[お気に入り (Favorites) ]を押します。



**ステップ2** 短縮ダイヤル エントリを選択して、[コール (Call)] を押します。

---

## 短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

### 始める前に

セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤル コードを設定します。

### 手順

---

短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮ダイヤル (Abbr dial)] を押します。

---

## 連絡先が対応可能な場合の通知

コールを発信しても相手の回線がビジー状態の場合、または相手が応答しない場合、相手が通話可能になったときに特殊な呼出音とメッセージで通知を受け取ることができます。

### 手順

---

**ステップ1** 話中音または呼出音が聞こえているときに、[コールバック (Callback)] を押します。

**ステップ2** 確認画面を終了するには、[終了 (Exit)] を押します。

**ステップ3** 相手が通話可能になったことを示す呼出音が聞こえてメッセージが表示されたら、[ダイヤル (Dial)] を押して再びコールを発信します。

---

## 国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

### 手順

---

**ステップ1** アスタリスク (\*) を1秒間以上押したままにします。

電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

**ステップ2** 電話番号を入力します。

**ステップ3** [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に10秒待つ事で自動的に通話を挿入します。

---

## 安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが表示されている場合、通話は安全です。電話機の設定によっては、発信する前またはハンドセットからセキュリティトーンが流れる前にサインオンする必要があります。

## コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

## コールに応答する

手順

---

[応答 (Answer)] を押します。

---

## 会議電話でコール ウェイティングへ応答する

アクティブコール中に別のコールがあると、ビープ音が1回鳴り、会議電話の画面にメッセージが表示されます。

手順

---

[応答 (Answer)] を押します。

---

## コールの拒否

呼び出し中の着信コールをボイスメールシステム（設定されている場合）に送信できます。設定されていないと、コールは拒否され、発信者にはビジー トーンが再生されます。

手順

---

[拒否 (Decline)] を押します。

---

## 応答不可をオンにする

特定の作業に集中したいときに応答不可（DND）機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号（設定されている場合）に転送されます。

### 手順

**ステップ 1** [応答不可（Do not disturb）] を押すと、DND がオンになります。

**ステップ 2** DND をオフにするには、[DND をオフにする（Turn off DND）] を押します。

## 不審なコールのトレース

迷惑電話や嫌がらせ電話を受信した場合、迷惑呼ID（MCID）を使用して管理者に通知することができます。コールについての情報を含むサイレント通知メッセージが電話機から管理者に送られます。

### 手順



[発信者のレポート（Report caller）] を押します。

## コールのミュート

通話中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

通話音声がミュートになっているとき、LED バーは赤色に点灯します。

### 手順

**ステップ 1**  電話または拡張マイクのミュート（Mute） を押します。

拡張マイクのミュート（Mute）を押すと、電話とすべてのマイク音がミュートになります。

**ステップ 2** 再度 [ミュート（Mute）] を押すと、ミュートはオフになります。

## コールの保留

### コールを保留にする

アクティブ コールを保留にして、いつでも再開できます。

#### 手順

---

**ステップ1** [保留 (Hold) ] ボタンを押す。

**ステップ2** 保留中の通話を再開するには、[再開 (Resume) ] を押します。

---

### 長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 1 回の呼出音 (一定間隔で繰り返す)
- 点滅するLEDバー
- 電話スクリーン上のビジュアル通知

#### 手順

---

保留中の通話を再開するには[応答 (Answer) ] を押します。

---

### アクティブ コールと保留コールの切り替え

アクティブ コールと保留中の通話の間を簡単に切り替える事ができます。

#### 手順

---

[切替 (Swap) ] を押して、保留コールに切り替えます。

---

### コールパーク

電話を使用して通話をパーク保留にすることができます。

パーク保留された通話は、忘れないようにネットワークによって監視されます。コールがパーク保留状態になっている時間が長すぎる場合、アラートが発せられます。その後、元の電話で応答、拒否、または無視することができます。引き続き、別の電話機から通話を受けることもできます。

所定の時間内にコールに応答しない場合、管理者が設定した別の接続先（ボイスメールまたはその他の宛先）に通話がルーティングされます。

## コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブ コールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

### 始める前に

コールがアクティブでなければなりません。

### 手順

- 
- ステップ 1** [パーク (Park)] を押した後、電話を切ります。  
システムがコールをパークした番号が電話機に表示されます。パークされたコールは保留されています。[復帰 (Resume)] を押すと、電話機でそのコールを再開できます。
- ステップ 2** (任意) パーク保留中の番号を、コールに応答すべき担当者に伝達します。
- 

## コールパークを使用して保留中コールを取得する

ネットワークの任意の場所から、パークされたコールをピックアップできます。

### 始める前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

### 手順

---

コールがパークされたときの番号を入力してコールを取得します。


---

## コールの転送

コールをお使いの電話機から別の番号に転送することができます。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

電話が転送されると、画面に [すべてを転送 (Forward all)]  アイコンが表示されます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** 電話機がアクティブでない場合は、[すべてを転送 (Forward All)] を押します。
  - ステップ 2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。

#### 関連トピック

[セルフケア ポータル \(14 ページ\)](#)

## 通話の転送

アクティブ コールを別の人に転送することができます。

### 別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、相手と個別に話をできます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)] を押します。
  - ステップ 2** 別の担当者の電話番号を入力します。
  - ステップ 3** (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。
  - ステップ 4** 再度 [転送 (Transfer)] を押します。
- 

### 転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。転送を行う前に、元のコールと転送するコールを切り替えることもできます。

### 始める前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

### 手順

---

- ステップ1 [転送 (Transfer)] を押します。
  - ステップ2 別の担当者の電話番号を入力します。
  - ステップ3 [切替 (Swap)] を押すと、保留中のコールに戻ります。
  - ステップ4 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。
- 

## 電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。

会議コールに複数の参加者を追加する場合は、それぞれ数秒の間隔を空けて追加します。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

## 他の人をコールに追加する

コール中に別の人を通話に追加できます。

### 手順

---

- ステップ1 通話中に、[会議 (Conf)] を押します。
  - ステップ2 番号を入力します。
  - ステップ3 (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。
  - ステップ4 [会議 (Conf)] を押します。
- 

## 会議を確立する前にコール間を切り替える

通話相手を会議に追加する前に、その相手と会話することができます。また、その相手とのコールと会議コールとの間で切り替えることもできます。

### 手順

---

- ステップ1** 新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。コールが接続されるまで待機します。
- ステップ2** 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替 (Swap)] を押します。
- 

## 会議参加者の表示と削除

会議を作成した場合、会議に参加した最新の 16 人の参加者についての詳細を表示できます。また、参加者を削除することもできます。

### 手順

---

- ステップ1** 会議中に [詳細の表示 (Show Details)] を押すと、参加者のリストが表示されます。
- ステップ2** (任意) いずれかの参加者を強調表示して [削除 (Remove)] を押すと、その参加者が会議から削除されます。
-





## 第 3 章

# コンタクト

---

- [社内ディレクトリ\(Corporate Directory\)](#) (41 ページ)
- [パーソナルディレクトリ](#) (41 ページ)
- [Cisco Web Dialer](#) (45 ページ)

## 社内ディレクトリ(Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

## 社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

### 手順

---

- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します
  - ステップ 3 検索条件を選択します。
  - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
  - ステップ 5 連絡先を選択し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリを使用して、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。パーソナルディレクトリに独自の連絡先を追加できます。よく通話する相手用の特別な短縮ダイヤルコードを追加できます。

パーソナルディレクトリは、電話機またはセルフ ケア ポータルから設定できます。電話機を使用して、短縮ダイヤルコードをディレクトリ エントリに割り当てます。

### 関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (14 ページ)

## パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト

### 始める前に

パーソナルディレクトリにログインする前に、ユーザ ID と PIN (暗証番号) が必要です。これらの情報が不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ (Personal directory)] を選択します。
  - ステップ 3 ユーザ ID と PIN を入力して、[送信 (Submit)] を押します。
  - ステップ 4 サインアウトするには、[ログアウト (Log out)] を選択し、[選択 (Select)] を押してから [OK] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリへの新しい連絡先の追加

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ 3 [個人用アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択して、[送信 (Submit)] を押します。
  - ステップ 4 [新規 (New)] を押します。
  - ステップ 5 名、姓、およびオプションでニックネームを入力します。
  - ステップ 6 [電話 (Phones)] を押し、電話番号および必要に応じてアクセスコードを入力して、[送信 (Submit)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリ内の連絡先の検索

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 パーソナルディレクトリにサインインします。

- ステップ3 [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ4 検索条件を選択します。
  - ステップ5 検索条件を入力し、[送信 (Submit) ] を押します。
- 

## パーソナル ディレクトリ内の連絡先への発信

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [パーソナルディレクトリ (Personal directory) ] を選択して、エントリを検索します。
  - ステップ4 ダイアルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
  - ステップ5 目的のファスト ダイアル コードを選択して、[コール (Call) ] を押します。
- 

## ファスト ダイアル コードの連絡先への割り当て

ファスト ダイアル コードを使うと、連絡先へのコールが簡単になります。

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ4 検索条件を選択します。
  - ステップ5 検索条件の情報を入力して [送信 (Submit) ] を押します。
  - ステップ6 連絡先を選択します。
  - ステップ7 [ファスト (FastDial) ] を押します。
  - ステップ8 番号を選択し、[選択 (Select) ] を押します。
  - ステップ9 割り当てられていないファスト ダイアル インデックスまでスクロールし、[送信 (Submit) ] を押します。
-

## ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信

### 手順

- 
- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。
  - ステップ4 目的のファストダイヤルコードを選択して、[コール (Call)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリ内の連絡先の編集

### 手順

- 
- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人用アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリを検索します。
  - ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)] の順に押します。
  - ステップ5 エントリの情報を変更します。
  - ステップ6 [電話 (Phones)] を押して、電話番号を変更します。
  - ステップ7 [更新 (Update)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリからの連絡先の削除

### 手順

- 
- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、エントリを検索します。
  - ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)]、[削除 (Delete)] の順に押します。
  - ステップ5 [OK] を押して、削除を確認します。
-

## ファストダイヤルコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。
  - ステップ4 必要なコードを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
  - ステップ5 インデックスを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
- 

## Cisco Web Dialer

Cisco Web Dialer、Web ブラウザ、および Cisco IP Phone を使用して、Web アプリケーションやデスクトップアプリケーションから電話を発信できます。Web ブラウザを使用して Web サイトまたは社内ディレクトリに移動し、ハイパーリンクの付いた電話番号をクリックするとコールが開始されます。

コールを発信するにはユーザ ID とパスワードが必要です。これらの情報は管理者から与えられます。初めて使用するユーザは、通話開始前に個人設定を行う必要があります。

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>にある「『Cisco Web Dialer』」マニュアルを参照してください。





## 第 4 章

### 通話履歴

---

- [最近の通話リスト](#) (47 ページ)
- [最近の通話履歴を表示する](#) (47 ページ)
- [最近の通話履歴に戻る](#) (48 ページ)
- [最近の通話履歴を消去する](#) (48 ページ)
- [コールレコードの削除](#) (48 ページ)

### 最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の150件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

コール履歴リストに含まれるコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。

### 最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。

#### 手順

---

[**通話履歴 (Recent)**] を選択します。

電話機がアイドル状態の場合、ナビゲーションクラスタを上を押すことによって通話履歴リストを表示することも可能です。

---

## 最近の通話履歴に戻る

一度コールがあった発信元には簡単にコールできます。

### 手順

---

ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ2 ダイヤルする番号を選択します。

ステップ3 [コール] を押します。

---

## 最近の通話履歴を消去する

電話機の履歴リストをクリアすることができます。

### 手順

---

ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ2 [クリア (Clear)] を押します。

ステップ3 [削除 (Delete)] を押します。

---

## コールレコードの削除

[通話履歴 (Recents)] を編集して、1つのコールを履歴から削除できます。[通話履歴 (Recents)] には 150 コールしか保持できないので、こうすることで重要な連絡先情報を保持できます。

### 手順

---

ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ2 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。

ステップ3 [削除 (Delete)] を押します。

ステップ4 もう一度 [削除 (Delete)] を押して確定します。

---





## 第 5 章

# ボイスメール

- [ボイスメール アカウント \(49 ページ\)](#)
- [新しいボイス メッセージの確認 \(50 ページ\)](#)
- [ボイスメールへのアクセス \(50 ページ\)](#)

## ボイスメール アカウント

電話機からボイス メッセージに直接アクセスすることができます。ただし、管理者がボイス メールアカウントを設定し、ボイスメールシステムにアクセスするように電話機をセットアップする必要があります。

電話機の [メッセージ (Messages) ] ソフトキーは、ボイスメール システムへの短縮ダイヤルとして機能します。



(注) 会議用電話 が、会議室で使われる共有電話である場合は、メッセージ ソフトキーが表示されないことがあります。

ボイスメール システムは電話機の一部ではありません。ボイスメール システムは、電話機とコール サーバが通信してボイスメール機能を提供する別のシステムです。

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。通常、ボイスメールシステムには電話番号が設定されています。その番号に直接ダイヤルし、指示に従ってボイスメールボックスにログインします。管理者は、ボイスメールシステムの電話番号を提供できます。

ボイスメール システムはそれぞれ異なっているため、お使いのボイスメール システムの使用方法を説明することはできません。お使いのボイスメール コマンドの詳細については、そのボイスメール システムのユーザ マニュアルを参照するか、管理者または IT 部門にお問い合わせください。

## 新しいボイスメッセージの確認

新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するため、不在着信やボイスメールメッセージの数が画面に表示されます。新しいメッセージの数が99を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。

また、オフフックダイヤルを使用する場合、スピーカーで断続トーンが再生されます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

### 関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (14 ページ)

## ボイスメールへのアクセス

### 手順

---

**ステップ 1** [メッセージ (Messages)] ボタンを押します。

**ステップ 2** 音声プロンプトに従います。

---



## 第 6 章

# 設定

---

- 呼出音の変更 (51 ページ)
- 着信音量の調節 (51 ページ)
- コール中に音量を調節する (52 ページ)
- 電話機の表示言語 (52 ページ)

## 呼出音の変更

電話機が着信コールに使用する音を変更できます。

### 手順

---

- ステップ 1 [設定 (Settings)] > [初期設定 (Preferences)] > [呼出音 (Ringtone)] を選択します。
  - ステップ 2 呼出音のリストをスクロールし、[再生] を押してサンプルを聞きます。
  - ステップ 3 [設定 (Set)] を押して、呼出音を使用します。
- 


## 着信音量の調節

コールの着信音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、音量を調節できます。着信音量の変更は、コール中の通話音量には影響しません。

### 手順

---



電話機を使用していないときに音量  を上または下に押すと、音量を調整できます。


---

## コール中に音量を調節する

会議用電話の音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、相手の声を聞きながら音量を調節できます。

手順

---



通話中に [音量 (Volume)] を上または下に押すと、音量を調節できます。

---

## 電話機の表示言語

電話機は、多くの言語でテキストを表示できます。管理者が電話機で使用される言語を設定します。言語を変更する場合は、管理者に問い合わせてください。



## 第 7 章

# アプリケーション

---

- [使用できるアプリケーション \(53 ページ\)](#)
- [アクティブ アプリケーションの表示 \(53 ページ\)](#)
- [アクティブ アプリケーションへの切り替え \(54 ページ\)](#)
- [アクティブ アプリケーションの終了 \(54 ページ\)](#)

## 使用できるアプリケーション

デフォルトでは、シスコの電話機にこれらのアプリケーションは含まれていません。天気、株式情報、社内ニュース、行うべき作業のリストなどの情報やサービスを提供するアプリケーションが企業によって追加される場合があります。

## アクティブ アプリケーションの表示

すでに開いているアプリケーションを簡単に確認できます。

### 手順

---

- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ 2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
  - ステップ 3 [終了 (Exit)] を押します。
-

## アクティブアプリケーションへの切り替え

### 手順

---

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
  - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択して [切り替え (Switch to)] を押すと、選択したアプリケーションを開いて使用できます。
  - ステップ4 [終了 (Exit)] を押します。
- 

## アクティブアプリケーションの終了

### 手順

---

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
  - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択し、[閉じる (Close app)] を押してアプリケーションを閉じます。
  - ステップ4 [閉じる (Close)] を押して、[終了 (Exit)] を押します。
-



## 第 8 章

# 製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスの情報 \(55 ページ\)](#)
- [準拠宣言 \(57 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティ \(64 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(64 ページ\)](#)

## 安全性とパフォーマンスの情報

### 停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

### 規制区域

この電話の無線周波数 (RF) は、国ごとの規制に基づき設定されています。■顧客から指示された対訳を使用■ 特定の規制区域の外部でこの電話機を使用すると、電話機は適切に機能せず、現地の規制に違反するおそれがあります。

### ヘルスケア環境

本製品は医療機器ではないため、他の装置や機器からの妨害を受けやすい無認可の周波数帯を使用しています。

## 外部デバイス

不要な無線周波数（RF）信号および可聴周波数（AF）信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



**注意** 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

## 電話機への電力供給方法

次のいずれかの方法で携帯電話に電力を供給できます：

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。
- ネットワークが Power over Ethernet（PoE）に対応している場合、使用する会議電話をネットワークに接続することができます。

ご使用のネットワークが PoE に対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

## ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声に影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃



## UL 警告

デバイスに接続されたLAN/イーサネットケーブルは、屋外に延長させないでください。

## 準拠宣言

### EU への適合宣言

#### CE マーキング

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



### EU への RF 被曝に関する宣言

このデバイスは EU EMF 指令 2014/53/EU の制限に従って評価され、準拠が確認されています。

## 適合宣言（米国）

### Part 15 無線デバイス



**注意** Part 15 に適合した無線デバイスは、当該周波数で動作する他のデバイスと干渉のない状態で動作します。Cisco による明確な許可なしに製品への変更を行った場合（Cisco が生産していないアンテナの使用を含む）、ユーザはこのデバイスの使用を禁止される可能性があります。

## 適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。（1）本製品が干渉の原因となることはありません。また、（2）本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

**Avis de Conformité Canadien**

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

**カナダの RF 被曝に関する声明**

このデバイスは、電波の被曝に関する ISED RSS-102 R5 で参照されている制限事項を満たしています。

お使いの装置には、無線送信機と受信機が含まれています。装置は、カナダ保健省安全規則 6 を参照する RSS-102 で参照されている電波（無線周波電磁界）への暴露に関する一般大衆（非制御）の制限を超えないように設計され、年齢や健康に関係なく、すべての人の安全を確保するための十分な安全マージンが確保されています。

このため、システムは、エンドユーザが直接アンテナに触れずに操作できるように設計されています。ユーザまたはオペレータの全体的な暴露を減らすように設計されている規制のガイドラインに従って、指定されているユーザからの最低距離を確保できるようにアンテナを設置できる場所にシステムを配置することを推奨します。

デバイスには、無線認証プロセスの一部としてテストが実施され、該当する規制への準拠が確認されています。

**Déclaration d'Exposition aux RF Canadienne****CE PÉRIPHÉRIQUE RESPECTE LES LIMITES DÉCRITES PAR LA NORME RSS-102 R5 D'EXPOSITION À DES ONDES RADIO**

Votre appareil comprend un émetteur et un récepteur radio. Il est conçu pour ne pas dépasser les limites applicables à la population générale (ne faisant pas l'objet de contrôles périodiques) d'exposition à des ondes radio (champs électromagnétiques de fréquences radio) comme indiqué dans la norme RSS-102 qui sert de référence au règlement de sécurité n°6 sur l'état de santé du Canada et inclut une marge de sécurité importantes conçue pour garantir la sécurité de toutes les personnes, quels que soient leur âge et état de santé.

En tant que tels, les systèmes sont conçus pour être utilisés en évitant le contact avec les antennes par l'utilisateur final. Il est recommandé de positionner le système à un endroit où les antennes peuvent demeurer à au moins une distance minimum préconisée de l'utilisateur, conformément aux instructions des réglementations qui sont conçues pour réduire l'exposition globale de l'utilisateur ou de l'opérateur.

Le périphérique a été testé et déclaré conforme aux réglementations applicables dans le cadre du processus de certification radio.

## カナダの高出力レーザーに関する声明

5250 ~ 5350 MHz および 5650 ~ 5850 MHz 帯域では高出力レーザーが主ユーザ（つまり、優先ユーザ）として割り当てられているため、これらのレーザーによる LE-LAN デバイスへの干渉および/または損傷が生じる場合があることに注意してください。

Devraient également être informés des utilisateurs que les radars à haute puissance sont désignés comme utilisateurs principaux (à savoir des utilisateurs prioritaires) des bandes 5250-5350 MHz et 5650 à 5.850 MHz et que ces radars pourraient provoquer des interférences et / ou endommager les périphériques LE-LAN.

## ニュージーランドへの適合宣言

### 接続許可（PTC）一般警告

端末装置の任意のアイテムに対する Telepermit の付与は、Telecom がそのアイテムがネットワークへの接続のための最小条件を満たしていること認めたことを示しているに過ぎません。それは Telecom による製品の保証を意味するものではなく、いかなる種類の保証も提供しません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルの Telepermit 許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品が Telecom の全ネットワークサービスと互換性があることを示すものでもありません。



## 適合宣言 (台湾)

### DGT の警告宣言

避免電波干擾，本器材禁止於室外使用5.25-5.35 赫赫頻帶

#### 低功率電波輻射性電機管理辦法

- 第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
- 第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
- 前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電信。
- 低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

#### 低功率射頻電機技術規範

- 4.7 無線資訊傳輸設備
- 4.7.5 在5.25-5.35赫赫頻帶內操作之無線資訊傳輸設備，限於室內使用。
- 4.7.6 無線資訊傳輸設備須忍受合法通信之干擾且不得干擾合法通信；如造成干擾，應立即停用，俟無干擾之虞，始得繼續使用。
- 4.7.7 無線資訊傳輸設備的製造廠商應確保頻率穩定性，如依製造廠商使用手冊上所述正常操作，發射的信號應維持於操作頻帶中。

197048

本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者



## 省電力およびビジュアル警告通知

視力保護警語：使用過度恐傷害視力  
低功率射頻電機警語：

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性之功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

4.7.9.1 應避免影響附近雷達系統之操作。

4.7.9.2 高增益指向性天線只得應用於固定式點對點系統。

## 適合宣言（アルゼンチン）

### Advertencia

No utilizar una fuente de alimentación con características distintas a las expresadas ya que podría ser peligroso.

CP-8832-MIC-WLS CNC ID: 22259

CP-8832 CNC ID: 21503

## 適合情報（ブラジル）

### Art. 6º - 506

この装置はセカンダリタイプのデバイスです。つまり、同じタイプのデバイスによって引き起こされた干渉であったとしても有害な干渉に対する保護はなく、プライマリタイプのデバイスに対していっさいの干渉を引き起こすこともできません。

詳細は、次のURLを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Site Anatel: <http://www.anatel.gov.br>



## 適合宣言（シンガポール）

**Complies with  
IMDA Standards  
DB101992**

## 適合情報（中国）

## クラス A 警告宣言


この宣言は、Cisco IP Conference Phone 8832NR に適用されます。

声明：此为A级UC系统产品附件(中国大陆),在生活环境,该产品可能会造成无线电干扰,在这种情况下,可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

## 適合情報（日本）

クラス B 機器の VCCI コンプライアンス



日本 無線コンプライアンス CP-8832 

「5.2/5.3GHz は日本では屋内使用に限定」

## 適合情報（韓国）



R-CMM-TNY-CP-8832-MIC--MIC-8832-MIC および CP-8832-POE



R-R-TNY-CP-8832 (CP-8832-NR)

## 適合情報（メキシコ）

IFETEL: RCPCICP18-0445



承認：NYCE/CT/0125/18/TS

## 適合情報（ロシア）

ユーラシア税関同盟マーク（ロシア、ベラルーシ、カザフスタン）



## FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission（FCC; 連邦通信委員会）は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

### FCC Part 15.19 宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の2つの条件に従って動作するものとします。1) 本製品によって、有害な干渉が発生することはない。2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

### FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の2つの条件に従って動作するものとします。1) 本製品によって、有害な干渉が発生することはない。2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

## FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。

## FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

ます。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があり、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

5150 ~ 5250 MHz の帯域で動作するデバイスは、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすため、屋内でのみ使用するようしてください。

## FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります。手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

## シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

## 重要なオンライン情報

## エンドユーザ ライセンス契約書

エンドユーザ ライセンス契約書 (EULA) は次の場所にあります。 <https://www.cisco.com/go/eula>



**『Regulatory Compliance and Safety Information』**

Regulatory Compliance and Safety Information (RCSI) は次の場所にあります。

[https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipph/8832/regulatory\\_compliance/RCSI-0314-book.pdf](https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/8832/regulatory_compliance/RCSI-0314-book.pdf)

